

ふれあい

平成24年12月 第318号
大代地区コミュニティ推進協議会
(広 報 部)
事務局：大代地区公民館
TEL 022-364-8442

●子供達に感謝・・・1	●みやぎスマイルロード・サポーターの取り組み内容について・・・2	●大代の歩み(五十三)・・・4
●初日の出・・・1	●開校50周年記念式典を終えて・・・3	●ふれあい短歌・・・4
●防災訓練を終えて・・・1	●学芸会のこと・・・3	
●ボウリング大会を開催して・・・2		

大代地区の世帯数(平成24年10月31日現在)：東区337、中区309、西区290、北区118、南区576、合計1630

子供達に感謝

大代南区町内会長 橋本 浩

私達は、小・中学生の子供達が登下校の時、交通事故に遭わないように、毎日見守り活動を行っています。去る11月1日(月)の朝、小中学生全員が、ゴミ袋を持って自分達が通う通路のゴミや空き缶、空き瓶などを拾って登校して行きました。袋にいっぱい持って重そうに登校して行った子供もおりました。私はとても感激し、一人ひとりに「おはよう、ありがとうございます」と声がけをしました。子供達もニコニコしながら「おはようございます!」と言って登校して行きました。その日は、一日中とても清々しい気持ちになりました。

これも校長先生を初め、諸先生方が学校教育の一環として熱心に取り組んでいることの現れであると改めて感謝を申し上げます。きつと子供達が成人した時、こうした教訓が活かされるだろうと思っています。

初日の出

大代南区町内会長 橋本 浩

大代南区町内会では、恒例の「新春日の出を見る会」を1月6日(日)、場所は七ヶ浜町湊浜緑地海岸にて開催の予定です。

昨年は、大震災のためやむなく中止しましたが、平成25年は、新春早々、朝のひととき

を皆様が一堂に会し、一人ひとりの思いを、新たな希望と決意を日の出に誓いながら、お互いの交流と親睦を図る目的で行います。毎年80人くらいの方々が参加しています。皆さんの参加をお待ちしています。

防災訓練を終えて

大代東自主防災組織会

会長 藤原 昭雄

大代東区で11月3日、2年ぶりに防災訓練を実施しました。今回の訓練は、大地震により避難指示が発令されたとの想定で行いました。会場は、石ヶ森公園を中心に町内のパトロールによる安否確認や状況確認、避難弱者の救助、援助等の訓練、これにはリヤカーや担架を使って行いました。避難場所には、テントを立て照明を点け、更に解体まで誰でも安全にできるように順序を確かめながら行いました。消火訓練では、子供達が多く参加しましたので子供達を中心に体験して頂きました。また震災の時はガスや電気が使えないことを想定し、薪ストーブを使ってご飯を炊きました。(今回は、それだけでは足りないので、炊飯器も使いました。)これは、皆さんそれぞれ3・11を経験しているので人数が増えるものと考えて実施したものです。

今回の訓練の参加者は80名と少なかつた

ですが、町内会で実施する訓練は、非常時にパニックにならないために体で覚え、実績を積み上げて行こうというものです。当然10人でやる訓練と100人でやる訓練では、やり方も方法も変わります。大代東区は、現在340世帯これも今、4丁目を中心に増えています。これから町内会の行事や訓練をやっていきますし、いろんな場を活用して実績を積んでいきます。皆様の協力なくして実績は積みません。先のアンケートで多かつた情報についても徐々に改善していきますが、情報だけでは身を守ってくれません。行政も人は助けてくれません。自分が動かないと助かりません。そうしたことを理解して頂き町内会の行事にもご協力下されば幸いです。これ以上の災害のないことを祈りたいです。

今回の訓練は、多くの方々の協力で怪我も事故もなく終了することができました。訓練に参加された方、ご協力頂いた方々に心から感謝申し上げます。



発電機のエンジンのかけ方訓練



子供達も消火器を使って消火訓練

ボウリング大会を開催して

大代地区コミュニティ推進協議会

体育部長 針生 吉治

体育部主催のボウリング大会を11月11日(日)、仙台コロナワールドのボウリング場において開催しました。参加人数は、例年よりも多い44名の参加を頂きました。

開会式の後、米澤まき子さんの始球式でゲームが始まり、各レーンとも和気藹々とした雰囲気の中で開始されました。皆さん、一投一投に期待を込めてボールを投げ、ベスト記録を目指して頑張っておりました。そしてストライクが出ると、歓声があがり、皆でハイタッチする光景もありました。

閉会式では、入賞者や参加者への賞品の授与と成績発表を行いました。また、賞品の提供を、大代の喫茶店「とんぼ」、JX日鉱日石エネルギーからも頂戴し、入賞賞品や参加賞としてお渡ししました。

次年度も多くの方が参加して頂ける大会にしようとお心掛けておりますが、今回の反省として、日程を決めるにあたり、一部の区の行事と重なってしまい、大代全区の方による参加にはなりません。今後、日程の設定などは各区の行事を確認しつつ決めたいと思います。たくさんのご参加ありがとうございます。なお、上位入賞者は下記のとおりです。

したので紹介致します。

2ゲームトータルスコア(ハンデ含)	
1位 橋本 恵美子さん	370点
2位 後藤 重子さん	342点
3位 後藤 昌英さん	331点
4位 斎藤 正義さん	318点
5位 伊東 泰さん	316点

みやぎスマイルロード・スマイル

サポーターの取り組み内容について

大代北区 米澤 まき子

宮城県が展開している「みやぎスマイルロードプログラム」とは、ボランティア活動に意欲を持つ地域住民及び企業が、スマイルサポーターとして県管理道路の一定区間を定期的に清掃や緑化作業などを行う美化活動で、平成13年12月から取り入れています。10月号の「ふれあい」で学校支援地域コーディネーターの高橋秀秋さんからみやぎスマイルロードについての経緯、取り組みに対する説明会のご案内を掲載させて頂きました。そして10月8日、ご理解頂ける団体の皆様の参加を得て、活動内容、団体名を協議した結果、スマイルサポーターの団体名を「大代環境クラブ」として活動することを決定しました。現在、登録申請の手続きを行っていると

す。

主な活動は、県管理道路の沿道の除草作業です。除草が必要と思つたきつかけは、震災の年から今年の初めにかけて、しばらく除草作業が行われなかつたために、一部の区間で児童の背が隠れる程に草が伸びてしまいました。このままでは防犯上問題があるのでは、と思ひ、また誰かの声を待つてゐるだけでは、何の解決の糸口が見当たらないことに気づかされました。

私たちの暮らす地域をきれいにし、安心できるまちづくりに、積極的に活動する団体を目指して参りたいと思つています。除草されていけば、道路利用者のマナー向上が図られ、ゴミのポイ捨てを減らす効果もあるのではないかと密かに期待しているところです。

開校50周年記念式典を終えて

多賀城東小学校

校長 高野 行弘

11月10日(土)、震災により1年延期しておりました開校50周年記念式典を挙行いたしました。秋晴れのもと、当日は、たくさんのご来賓、地域の皆様方のご臨席を賜り、また、東豊中学校吹奏楽部の素晴らしい記念演奏を頂き、式典を盛会裡に終了できましたことを心より御礼申し上げます。

本校は、昭和36年4月、地域の皆様方の大変熱い思いから設立され、平成23年度までに5,559名の卒業生を送り出してきました。学舎を巣立った卒業生は、現在、社会の様々な分野でリーダーとして中堅として活躍されています。

この50年間には様々な出来事があつたはずです。良いことも困難なことも、その一つひとつの出来事が積み重なつて、多賀城東小学校の歴史と伝統になつていきます。

また、開校以来、地域の皆様方には、多大なるご支援を頂いており、現在も朝の交通指導や読み聞かせ、清掃等をはじめとして、100名以上のボランティアのご協力を頂き、正に「おらほの学校」としての伝統が脈々と受け継がれております。

子どもたちは、明るく生き生きと活動しており、今年の運動会や学芸会でも皆様から、職員の指導体制、PTAの皆様の協力性についても高い評価を頂きました。また、県より学力向上サポート事業の指定を受け、学習面にも力を入れ、文武両道にわたるよき校風を現在も引き継ぎ、一層発展させるべく、取り組んでいる所です。

開校時の熱い想いをいつまでも忘れないで、多賀城東小学校は、児童と教職員が一丸となり、創立50周年の歴史をバネにして大きくは

ばたいていきたいと念願しています。

結びになりますが、今回の記念事業の推進にあたり、市当局、歴代PTA会長様、区長様、地域・卒業生・保護者の皆様から物心両面にわたり多大なるご支援を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。



東豊中学校吹奏楽部による記念演奏で式典を盛り上げて頂きました。

学芸会のこと

多賀城東小学校3年

大代東区 齋藤 真衣

10月27日、多賀城東小学校の学芸会がありました。9月から本番に向けて毎日練習をしてきました。3年生は、「みんなにえがおをとどけよう。」というテーマで、ディズニードレーの合そうと合しようを発表しました。合そうでは、3年生から習い始めたリコーダーやいろいろ楽器を使ってえんそうしました。わたしはリコーダーをえんそうしました。

リコーダーで大変だったのは、高い音を出すことです。それで何度も練習をしました。先生の指先を見ながら、みんなとテンポを合わせるのがとてもむずかしかったです。

3年生の出番は、6学年の中で5番目だったので、発表前の待っているとき、すごくきんちようしました。

いよいよ本番です。みんなもきんちようしていたので、合そうは少しテンポが早くなつてしまいました。「小さな世界」の合しようは、上手に歌えたのでほつとしました。でも終わつたらなんだかスツキリしました。

来年もがんばります。

大代の歩み (五十三)

大代南区 渡邊 巖

人間の生活にとって『水』は云う迄もなく不可欠である。

多賀城は村内に砂押川・七北田川・貞山堀が流れ、水は量的に恵まれている様に見えるが、それは水田稲作用の水であつて、生活用水として特に飲料に適する良質の水源が無いために、村民は屋敷内の掘り抜き井戸や川水を汲み上げて使用していたが、それには伝染病を防ぐ設備も皆無で、不衛生な飲料水を使用していた。そのうえ村当局でも水道の敷設を考へることがなく昭和の時代まで時は流れ

た。

ところが昭和一七(一九四二)年に海軍工廠が建設されることになり、工廠の工業用水と急増する工廠従事者住宅の生活用水を確保するため水道は絶対に必要であつた。軍は多賀城海軍工廠の付帯設備として村内や近隣地に水源井戸と集水所、排水池・排水所とともに水道を敷設し、工廠内と家族住宅に給水されたのが多賀城に於ける水道普及の始まりである。しかし一般住民が水道の恩恵に与るにはなお暫くの年月を要した。

昭和初期、日本経済は不況であつたが、昭和六(一九三二)年に始まつた満州事変は軍需産業の活況化と共に都市部へ急速に好景気をもたらした。しかし此の事変は、後に日支事変を経て第二次世界大戦への発端となつた。一方、昭和に入つてからも度重なる凶作に見舞われた農村は、昭和一一年頃まで不景気だつた。そこで此の農村不況を切り抜けるために政府施策の一つとして「農村の自力更生」を標榜し、農民の自立心を喚起して農民がなんとか生き抜かれるようにするものであつた。しかし此の運動は日時の経過と共にその役割を戦時体制への村全体の協力と組織化に様変わりしていった。

続く

ふれあい短歌 (古代東北)

大代西区 藤田 遊子

あざまろに焼き陥とされし多賀城に

重弁蓮花の豊漬れり

頼朝に藤原文化は露と消え

面影証す金堂一つ

都にあてるゐの首は晒されて

律令国家の代ぞ明けにける

お知らせ

○大代地区コミュニティ推進協議会主催の

「新年を祝う会」について

時期 平成25年1月12日(土)

午前11時から午後1時まで

場所 大代地区公民館

会費 1500円

参加申し込みは、各町内会に「新年を祝う会」のご案内を配付しますので、参加ご希望の方は申込用紙にご記入の上、会費を添えてお申し込みください。

○11月21日、JX日鉱日石エネルギー株式会社の皆さんによる貞山運河東側道路及び旧道自衛隊前三叉路から横穴古墳までの間、ゴミ拾いの清掃活動が行われました。道路沿いが大変きれいになりました。ありがとうございました。